

地域福祉フォーラム実施要領

1. 趣旨・目的

佐倉市における地域福祉の推進を図るため、佐倉市は、「第3次佐倉市地域福祉計画」(計画期間：平成28年度から令和元年度)を、佐倉市社会福祉協議会は、「第5次佐倉市地域福祉活動計画(ともに歩むふくしプランⅢ)」(計画期間：平成28年度から令和2年度)をそれぞれ策定し、施策を進めています。

今年度、市は次期計画策定の年度、また、社協は現計画の中間評価の年度であることから、市は次期計画の概要、社協は中間評価の発表を行うとともに、地域福祉フォーラムで継続して行っている、リレートークを行い、地域福祉についてみなさんと一緒に考える機会として、本フォーラムを実施します。

2. 日 時 令和元年10月27日(日) 午後1時30分から午後3時30分

3. 会 場 佐倉市立中央公民館・大ホール

4. 主 催 佐倉市
社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会

5. 参加者 200名(予定)
※入場無料・申込不要 手話通訳・要約筆記あり 託児あり(要申込)

6. 内 容 第1部：次期計画の概要(佐倉市)及び現計画の中間評価(社協)の発表
【佐倉市】
第4次佐倉市地域福祉計画の概要
【佐倉市社会福祉協議会】
第5次佐倉市地域福祉活動計画(ともに歩むふくしプランⅢ)の中間評価

第2部：リレートーク ～みんなでふれあい・地域で支えあい～

両計画共通の推進項目である、地域におけるふれあい・支えあいをテーマに、ふれあいや支えあい活動から連携し、地域活動が繋がり広がる様子をリレートークする。住民同士で築く住みよい地域を会場全員で共有する。

誰もが安心して暮らせる地域は、住民同士のちょっとしたふれあいの機会から繋がり、お互いの理解が深まり、共感することから始まる。地域活動が活発になることで、地域住民同士繋がりができ、生きがいとなって相互実現できる地域になる。更に活動の展開・新たな課題へ対応できる地域づくりのためには暮らしの困りごとを地域で受け止め、自分たちの課題として解決していく営みが大切になる。一方、顕在化される地域の課題を受け止めるネットワークを育んでいくことで、地域共生社会を目指していく。

地域福祉フォーラム プログラム（案）

司会：田仲知代氏（佐倉市ボランティア連絡協議会会長）

時 間	内 容	備 考
13:30～13:40	【開 会】 ○主催者挨拶（予定） 佐倉市長 西田 三十五 ○来賓挨拶（予定） 佐倉市議会議長 石渡 康郎 様	
13:40～14:05	【第1部：次期計画概要（佐倉市）・現計画中間評価（社協）】 ○第4次佐倉市地域福祉計画概要（10分） 佐倉市福祉部長 佐藤 幸恵 ○ともに歩むふくしプランⅢ中間評価（10分） 佐倉市社会福祉協議会事務局長 深沢 孝志	
14:05～15:25	【第2部：リレートーク】 （テーマ）「みんなでふれあい・地域で支えあい」 ●登壇者（各15分） ○学びから自発的に ・佐倉西高等学校生徒（ボランティア委員会） 学生である自分にもできる地域での活動は何かないか？ボラン ティア活動を通して学んだこと、考えていることを発表して いただく。 ○得意なことを生かして ・配食サービスボランティア「むぎの会」 得意の調理の腕前を生かして、手作りのお弁当を独居高齢者に配 食し、安否確認やふれあいの機会としている。高齢者にとどまらず、 地域で始まった子ども食堂の協力も行い、活動の広がりを通して 様々な方の生き方を理解していることを話していただく。 ○支えあい・つながり・深まりあう ・ごはんでつながる仲間たち さくらあったか食堂ネットワーク （9月30日に設立総会を開催予定） 団体のネットワークづくりを行うことで繋がりを深め、活動上 の課題共有や解決手段、行政との情報共有を行い、活動の深化を 目指していることを伝えてもらう。 ●コーディネーター ○小林 眞智子氏（佐倉市地域福祉計画推進委員会会長）	
15:25～15:30	○主催者挨拶 佐倉市社会福祉協議会会長 長谷川 大実	
15:30	【閉 会】	